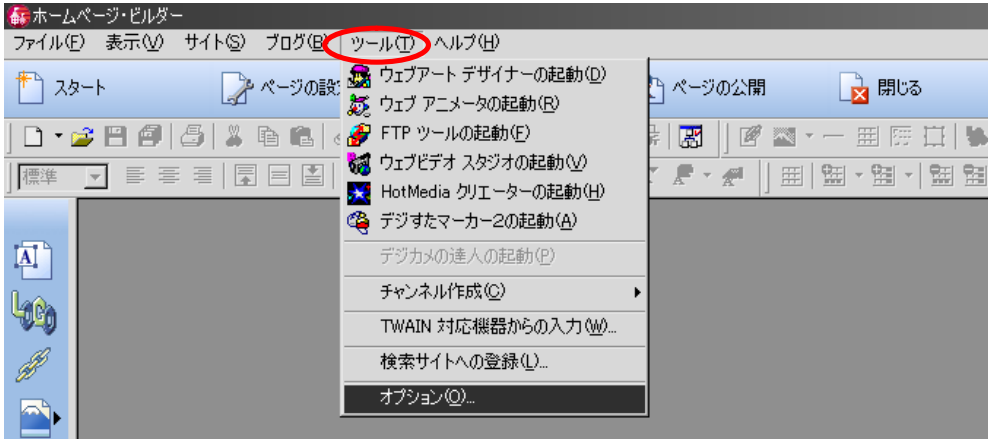


## ホームページビルダーの設定

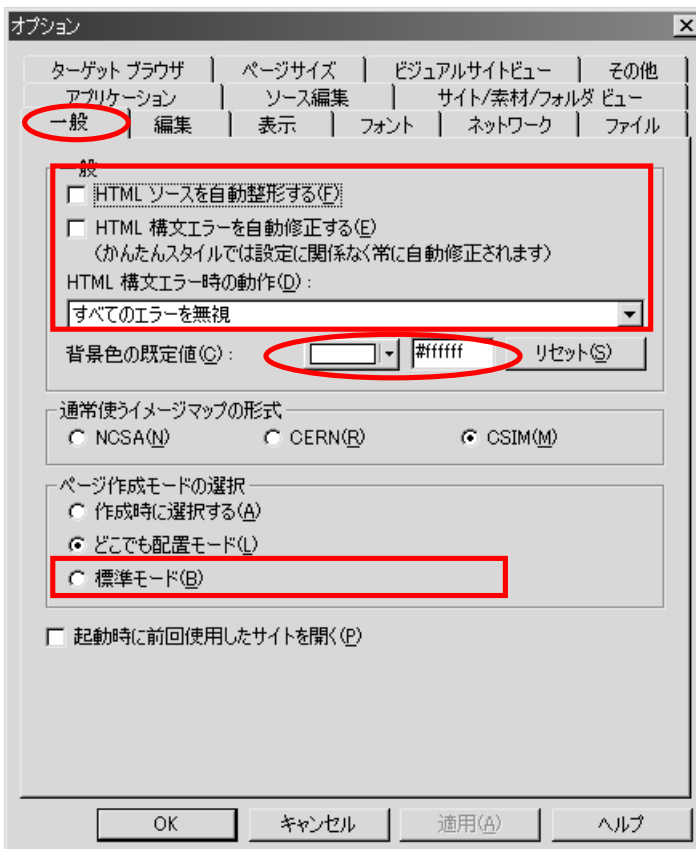
### § ホームページビルダーの設定について

作業を始める前に、まずビルダーの設定を変更しましょう。

ソフトウェアのバージョンによって、イメージ画像と内容が異なる場合があります。



ビルダーを開いたら、ツールバーのツールから『オプション』を選択します。



### タブの「一般」を選択します。

一般の中の『HTML ソースを自動整形する』のチェックを外し、さらに『HTML 構文エラーを自動修正する』のチェックも外します。最後に HTML 構文エラー時の動作の部分の「すべてのエラーを無視」を選びます。

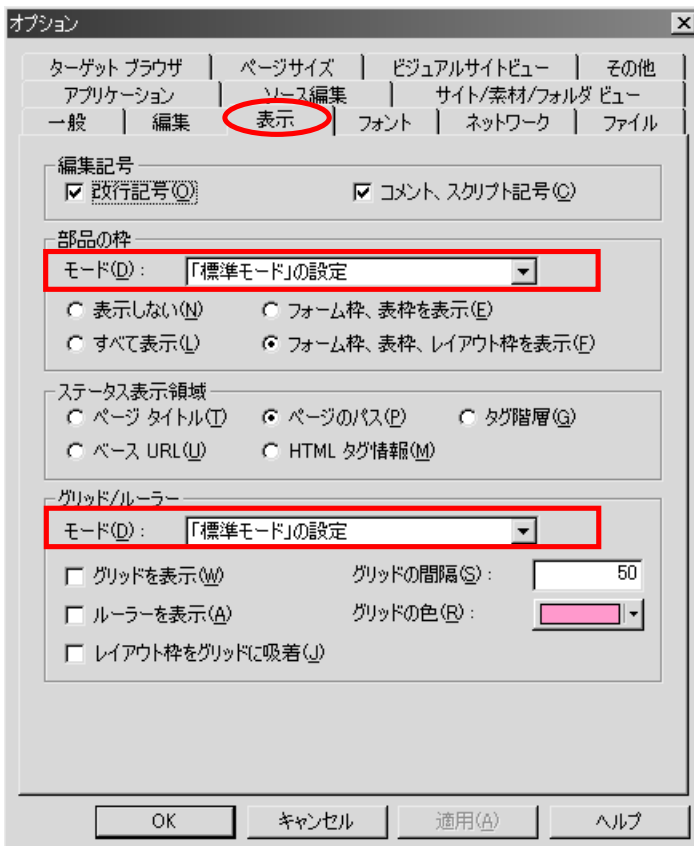
エラーが自動修正される事によって、ページ内の機能やレイアウトが崩れてしまう事がある為です。

背景色の既定値を『白』つまり『#ffffff』にします。

モニターによって、標準のままでは白に写らない場合が確認された為です。

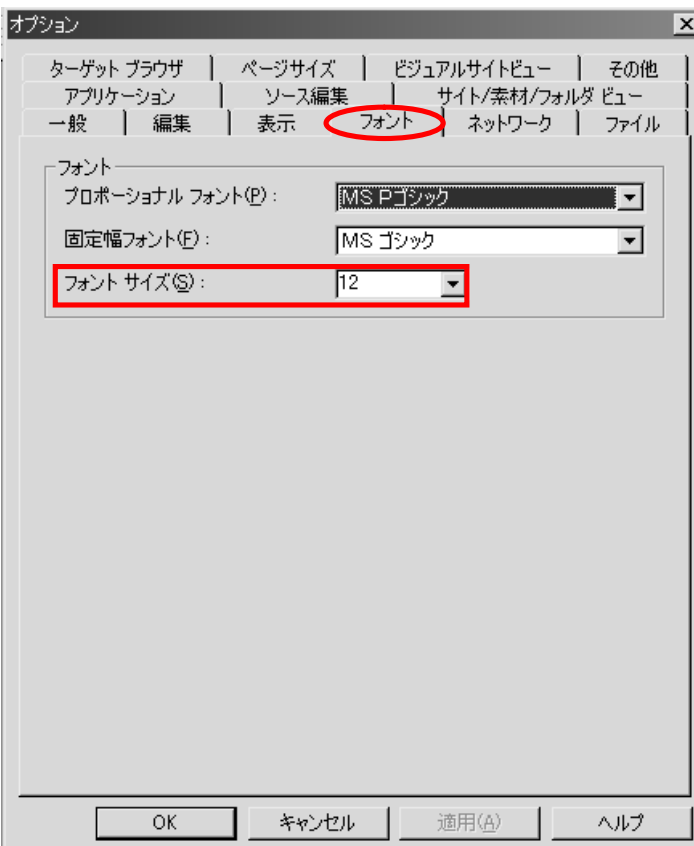
ページ作成モードの選択の中の[ 標準モード ]を選びます。

全てを変更したら、[ 適用 ] ボタンを押し、最後に[ OK ]ボタンを押し、ウィンドウを閉じて下さい。



### タブの「表示」を選択します。

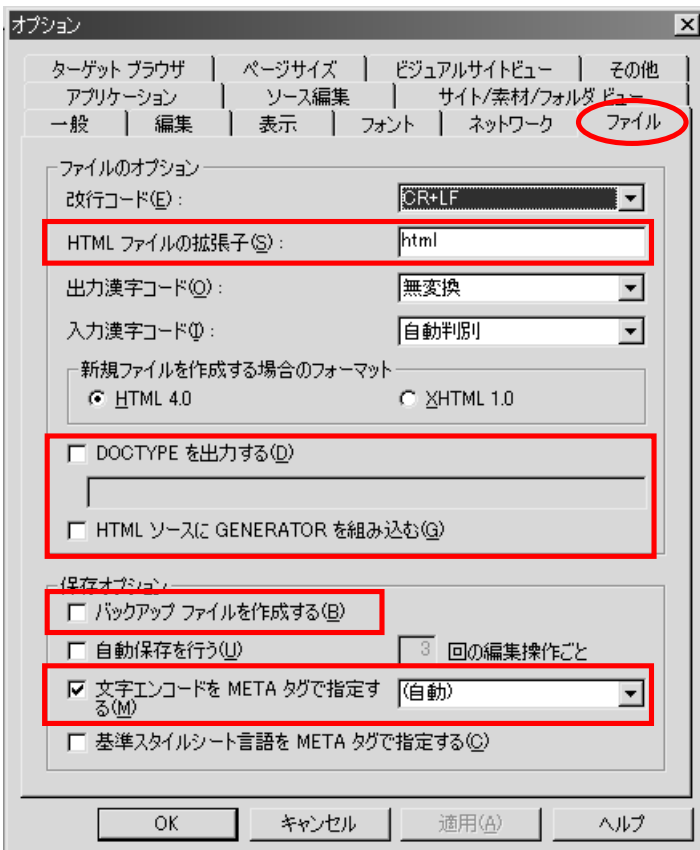
部品の枠、グリッド/ルーラーの『モード』をそれぞれ[ 標準モードの設定 ]にし、[ 適用 ] ボタンを押したら、最後に[ OK ]ボタンを押して下さい。



### タブの「フォント」を選択します。

フォントのフォントサイズを『12』にし、[ 適用 ] ボタンを押したら、最後に[ OK ]ボタンを押して下さい。

プレビューと編集画面での見え方の違いをなくして作成しやすくする為です。



### タブの「ファイル」を選択します。

ファイルオプションの中の HTML ファイルの拡張子を [htm] [html] に変更します。

『HTML ソースに GENERATOR を組み込む』と『DOCTYPE を出力する』のチェックを外します。

ページのヘッダー内に GENERATOR を入れない、DOCTYPE を出力しない為です。

GENERATOR や DOCTYPE とは...

HTML ソースに入っているホームページビルダーのバージョン情報などの事です。

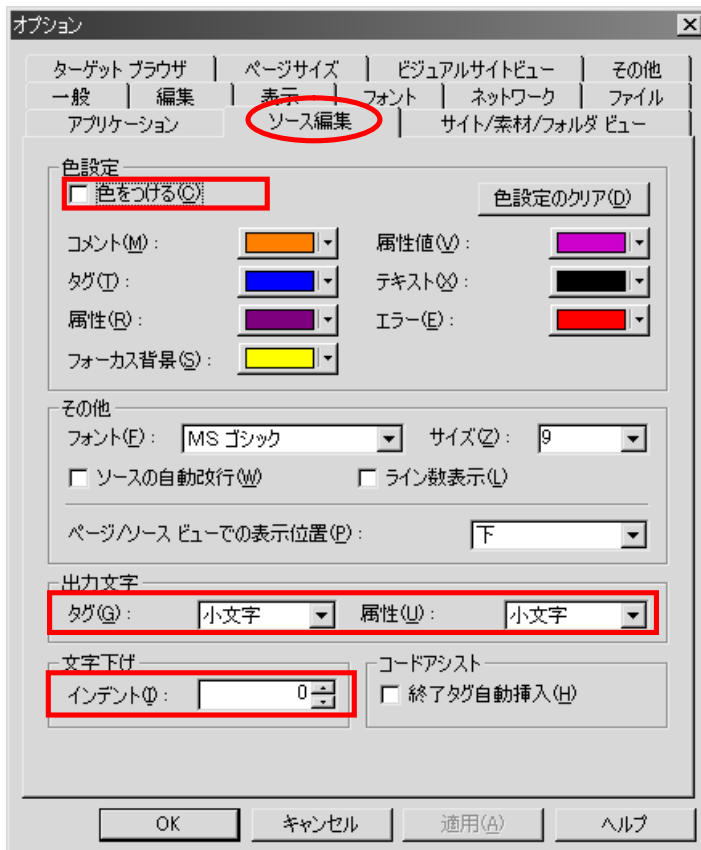
『バックアップファイルを作成する』のチェックを外します。

bak ファイルを作らないようにする為です。バックアップを自分でしっかりと取れば、このファイルは不要になります。

『文字エンコードを META タグで指定する』の左側にチェックを付けて、右側は『自動』にします。

ページが「文字化け」という状態に陥らないようにしておく必要がある為です。

全てを変更したら、[ 適用 ] ボタンを押し、最後に [ OK ] ボタンを押して、ウィンドウを閉じて下さい。



### タブの「ソース編集」を選択します。

色設定の『色をつける』のチェックを外し、[ 適用 ]ボタンを押します。

プレビューと編集画面での見え方の違いをなくして作成しやすくする為です。

出力文字の『タグ』『属性』共に[ 小文字 ]に変更し、[ 適用 ]ボタンを押します。

検索エンジンが小文字でソースを認識している為です。

文字下げの『インデント』を[ 0 ]に変更し、[ 適用 ]ボタンを押します。

HTML ソースに余計な余白を入れないようにしてくれる設定です。

最後に[ OK ]ボタンを押してウィンドウを閉じて下さい。

# Memo